



新しい国のかたち

黒田 インターナショナル コンサルティング

黒田 毅

国民が生活を失い、争いを求めることは、競争という現実における一つの真実である。経済が現実を支配し、競争原理における市場原理における社会を有することにおける弊害である。

すべての国民が幸せに生きるという理想は、正しい政治行動の結果なのである。

これは和という思想を抱く日本が、世界の融和を提案できることを伝えるものであり、対立と争いという2分化した世界に対して、これら対立というパイシスから、融和というアクエリアスという新しい現実の提案を実現できることを示唆するものである。

これらは共生という新しい合意における世界の創造であり、これらはすべての争いや対立に対して、新しい現実と合意を提案するものである。

これは日出づる国が、世界の日の出として、自己を行うことであり、これらは新しい世界を提案するものである。

世界がその対立において、未来を求めるとき、平和憲法と戦争放棄という自己は、自己の現実を拡大しすべての国家におけるこれら合意を提案できるのである。

世界は必ず未来を要求する。先進国において唯一東洋のルーツを有することは、すべての多様な世界に対してその自己の否定でない、合意と協力という提案を可能とできるのである。

これらは新しい自己であり、新しい世界なのである。

すべての人々が幸せに生きることは、人類の理想であり、新しい船出とその旗は、未来という新しい挑戦なのである。